(花柳双喜美

第 40 号

平成 25 年 (2013)9月1日

秋号

〒六〇五-〇八一二 京都市東山区安井毘沙門町三三

印 企刷 画

(有)章美プリント

編集

檜の会会報編集部

http://hinokinokai.or.jp,

NPO法人檜の会事務局

TEL/FAX 〇七五-五五一-三六五三

NPO法人檜の会理事長 安田紀美子

楽しい会として発展してまいりました。 京…と大勢のお人の輪が広がり、本当に して発足以来、京都から滋賀・大阪・東 した。昭和52年に『芸能を楽しむ会』と 会」となりまして、今年10周年を迎えま 檜の会が平成15年に「NPO法人檜の 「檜の会」が発足いたしました頃、京

取に考えてまいりたいと思います。

しい時代を踏まえて会のあり方なども進 日は夢のごとく早く流れていきます。新

とんどありませんでした。私達はそんな ましたが、伝統文化・芸術での参加はほ 都にも「NPO法人」の組織ができ始め



舞踊 『連獅子』(親獅子)

中 こうして継続できてまいりましたのも、 ります京都で異業種の方たちの集まりが 展のため様々な催しを開催してまいりま たればこそと今も固く信じております。 会員の素晴らしい先生方の後押しがあ した。何かにつけて難しいと言われてお 10年ひと昔と言われておりますが、月 会員一同全力を挙げて伝統文化の発

お変わりなくお元気でご活躍のことと存

いますが、

本列島を覆す異常気象の昨今でござ NPO法人檜の会の皆様には

華」も平成26年3月に開催を決定いたし また、10周年記念事業「伝統文化の精 チャーなどを企画開催予定しています。 大学稲盛ホールでの開催を予定)やカル 般・学生参加型の芸能フォーラム(京都 今後は今迄とは少し趣向を変えて、

楽しく意義ある事業を開催できますこと のために新理事には、各部門を担当して を心より願っております。その目的遂行 ただくことになりました。 いただき、それぞれの事業に専念してい ご支援頂きます会員の皆様とともに

援、ご指導を賜りますようよろしくお願 まいりたいと思いますので今後ともご支 新理事一同、心を一つにして頑張って

平成25年8月25日午後2時~午後4時 於:八坂神社舞殿

NPO法人檜の会10周年記念「伝統芸能奉納会」

殿 爛 田中重太郎

ろうとする頃には薄日が差して来た。 境内に入られる直前にあがって愈々始ま 生が八坂神社の正門、 つい先程まで降っていた雨が双喜美先 南楼門をくぐって

清々しさが溢れ身が引締るのを感じた。 お礼、本日の成功と芸への精進を励まし 殿、奉告祭が斎行され、斎主の奉納への て下さるご鄭重なご挨拶を頂戴し一同 今日の奉納をして下さるお家元や諸先 檜の会のメンバーが挙って本殿に参

た事を正に実感した幕開けである。 れたその心意気に神佛の感応をいただい 立10周年の記念として企画提案され催さ 安田紀美子理事長自らがNPO法人設

ている。 チリと奉納者を大書した提灯がつるされ の化粧軒裏には全周囲三段にわたりキッ に敷かれた一条の緋毛氈が美しい。外部 され天井は折上格天井になっている。床 三間四方の舞殿は周囲に浜床がめぐら

顧問もお見えいただいている。 大勢の方々が舞殿を囲まれ河田貞名誉

能管『水辺の声』・長唄『岸の柳』と進 番組は、ご祝儀小唄舞『有喜』・箏曲 『四方の海』・義太夫『萬歳』・仕舞 『高砂』 (特別出演 林喜右衛門師)・ 先ず奥村澄子専務理事のご挨拶の後



んだ

的であった。 エティに富んだ正に日本の伝統芸能の催 わかりやすく演目のご説明をされ、見ど しをカメラにおさめておられるのが印 ころ聞きどころをも解説していただいた。 司会の中田節理事は出演者のご紹介と 観客の中には外国の観光客も多くバラ

夫々が今日の感銘を胸に秘めて終幕した。 国際交流に力を注ぐとご抱負を述べられ、 され、続けることの大切さ、次世代育成 最後に理事長が鄭重なお礼のご挨拶を

(当会理事)

平成25年5月11日(土) NPO法人檜の会

平成25年度会員総会:エルイン京都 交流会:ホテルセントノーム京都

は今年も京都駅南口近くのエルイン京都 NPO法人檜の会平成25年度会員総会

議長に選出、議事に入り、 ・平成24年度事業報告・収支決算の承認 河田理事長の挨拶に続き福野 一美氏を

平成25年度事業計画・収支予算案の承

監査報告

閉会のことばで無事終了した。 場一致で承認可決され、脇谷副理事長の が順次上程され慎重審議の上、 ・理事の選任、監事の選任 認について 何れも満

と題したご講演を拝聴。写真の豊富な詳 深いお話を承った。 しい大部のレジメ(冊子)を頂戴し興味 続いて河田理事長の「観音菩薩の水瓶」

惜しき中、散会。総会の全行事を了えた。 とき、お互いの絆をたしかめあって名残 世話のもと、ひと足東のホテルセントノ 交流会は柴田副理事長、中井理事のお ム京都二階「貴船」に遷り和やかなひと

◆予定

お知らせ

「檜の会」会報原稿募集

◆第8回「伝統文化の精華展.

平成26年3月15日 (土) ~16日

(日)

担当

中田理事

平成25年11月3日

講座「日本舞踊の初歩を学ぶ」(仮題)

参加行事。消息・ご意見など掲載した 極的に掲載いたします。催事の予定や い記事を事務局までお寄せ下さい。

▼「芸能フォーラム」

近藤副理事長

平成26年5月11日(日)

会場

左京区蹴上 京都市国際交流会館

編集部

会場

左京区吉田 京都大学稲盛ホー

田村副理事長他

会員の皆様からのお知らせなどを積

【役員改選】(敬称略) ◎新任〔〕役割分担

報

告

顧 名誉顧問 ◎河田 貞 (前理事長)

問 義明

◎小堀

脩

◆ H 25 · 5 · 11 (土)

於:エルイン京都

一階会議室

康則

江里

長 ◎森口 ◎柴田 ◎安田紀美子 亮介 (前監事) 嘉章

理

事

〔総括〕

副理事長 専務理事 ◎田村 ◎近藤 正明 類 〔伝統文化の精華 [国際交流分野]

◎奥村 ◎波多野一郎 澄子 [事務全般] 「会議等の進行」

常務理事

◎長谷川裕子 [会計]

田中重太郎 〔設備·運営·広報〕

理

事

◎荒木 勤

節

◎中田

〔設備·運営·広報

幹雄

小暮

◎ 山田 豊子

◎木下 隆

◎
西

監

事

◎福野

美

[広報]

於:東山いきいき市民活動センター

【協議会】

◆H 25·7·20 (土) 於:安田紀美子理事長宅

H 25 · 4 · 14 (日) 於:東山いきいき市民活動センター

◆ H 25 · 3 · 31 (目

於:東山いきいき市民活動センター

於:東山いきいき市民活動センター

H 25 · 3 · 【理事会】

◆ H 25 · 4 · 28 (日)

於:東山いきいき市民活動センター

¥H 25 · 5 · 18 (±)

♦H25·3·24 (日

於:東山いきいき市民活動センター

◆ H25630 (日

於:安田紀美子理事長宅

【事業(行事・催事)】

◆記念講演「観音菩薩の水瓶」 講師:河田貞前理事長

H₂₅·5·11 (土)

於:エルイン京都一階会議室 $\widehat{\pm}$

◆交流会 H25・5・11 於:ホテルセントノーム京都

「伝統芸能奉納会」

NPO法人「檜の会」 H 25 · 8 · 25 (目 10周年記念事業

於:八坂神社舞殿

NPO法人「檜の会」入会のご案内―― 【入会金及び会費】

年会費

(団体) 3,000円 20,000円 賛助会員

(個人) 2,000円 10,000円

「檜の会」は日本の伝統芸能を守り楽し む会として発足、日本の伝統芸能文化(古 典芸能・民族音楽・美術工芸・文学など)を各 分野の専門家から学び、新しい文化や芸能 の息吹を京都から世界に発信できれば素晴 ことだと思って活動を続けています。

【会員の特典】

伝統文化芸術・芸能の研修会や、ホール や劇場での鑑賞会にご招待またはご優待。 「檜の会」会報誌の無料送付。

5,000円(1口)

(個人) 1,000円 (団体) 2,000円 10,000円(1口) 学生会員 免除 2,000円

入会金

し上げます。

(田中)

る会報を目指して頑張って参りたいと存

様に少しでもお役にたち喜んでいただけ にサポートしていただき、会と会員の皆 拝命。前編集長と新しい編集委員の皆様

このたび理事長から会報の編集担当を

編集後記

正会員

じます。皆様の格別のご教導をお願い申

画•編集: 檜の会会報編集部

田中重太郎・中田節・奥村澄子・木下隆 (会報はホームページでもお読み頂けます)

(2)